

情 報 局 編 輯

# 週 報

一 月 十 二 日 號

昭和十九年十一月十二日發  
（每週一版水曜日發行）

## 戰 局 の 新 様 相

本 年 の 戰 局 展 望

太 平 洋 戰 局 の 新 展 開

377 號

國 民 徵 用 質 疑 應 答

反 樞 軸 外 交 の 動 向



## 言 週

決戦の新春四日、戦時官吏服務令は公布せられ、征戦完遂のため官吏の實踐躬行すべき道は昭示された。

官吏は全生活を國家に捧ぐるを以て本分とする。朝九時から夕五時までの出勤時間が服務であり、帰宅すれば私の生活であるといふ觀念は、官吏道には初めから存在しないのである。

働く時は勿論のこと、休む間も、眠る間も、飲食する間も、官吏にとつては勤務の時である。何時如何なる場合にも、官吏は君國のため身を挺して働かねばならない。

従つて官吏の私生活は即ち公生活である。換言すれば、官吏は一日二十四時間勤務である。

實に己れの全生活を君國に捧げ盡すてふ信念こそは、官吏の生活態度、官吏服務の基調である。そして、この信念と、その現れである生活態度こそは、一億國民に範として示すべきものである。



# 本年の戦局展望

陸軍省報道部

## 歐洲戦局

大東亞戦争三年、深刻化した情勢の下に昭和十九年の新春を迎へた。我々は先づ以て、寶祚の無窮と皇壽の萬歳とを壽ぎ奉り、皇國の必勝を天地神明に祈らんとするものである。

この度の戦ひは世界歴史の大轉換を齎し、皇國三千年の運命を決する本質を有するだけに、我々の前途には容易ならざる艱難が横たはつてゐることを覺悟しなければならぬ。我が國は、近くは滿洲事變以來、今日まで十數年に亘り戦時生活を續けて來てゐるのであるが、御秘威の下、事態はすべて順調に進捗し、眞に困難な状況や、危険な場

面にぶつかつたことはなかつたといへるであらう。

しかるに今度の戦争の現實、並びに今後の推移を考察してみると、從來我々の經驗しなかつた深刻な情勢、苛烈な戦局が現はれることが豫想されるのである。即ち現在並びに今後の戦局なるものは、最も困難なる情況下における戦局であり、これに對する我々の心構へと、これに對する施策の適否、實力の強弱如何によつて戦争の勝敗が決められるものと考へる次第である。そこで今、現下の世界戦局をありのまゝに觀察してみることによらう。

まづ歐洲戦局である。これは何といつても獨ソ戦が中心である。ヒトラー總統は、初めイギリスを作戰目標としてゐたが、途中、後門の狼、ソ聯が危険であると感じ、これを撃破した後、前門の虎イギリスに當る決心の下にソ聯に開戦した。しかもこの戦争の短期終結は、戦局の現實が示してゐるやうに、なかく困難である。今日でも依然として消耗戦、運動戦の狀態が續けられてゐる。

昭和十九年一月元旦現在の戦線は、概ねレニングラード西側、ノヴォゴロド、

キエフ西側、クレメンチウグ西南側、  
ゾボロジエ、ドニエプル河右岸の線と  
クリミア半島北及び東部両海峡の線に  
ある。

ソ聯軍は去る十二月二十日頃、北部  
戦線のネヴリ、ヴィテプスク地区にお  
いて、また同日二十四日、キエフ西方  
地区において新攻勢を開始し、若干の  
進出をみたが、ドイツ軍の反撃によつ  
てその後大なる変化をみない。

かやうに東部戦線は一進一止の状態  
であるが、ソ聯軍の物的・人的損耗の多  
大であつたことからは、今後ソ聯  
としては、米英の援助なしでは到底底  
底に當り得ないまでに戦力を消耗し  
盡して來てゐるものと考へられる。し  
かし、ドイツ軍としても、さきにはイ  
タリア戦線の補填、また近い將來豫想  
される米英の歐洲侵入作戦、いはゆる  
第二戦線に對し萬般の對策準備を必  
要とし、且つまた東方戦場の地形、天  
候、氣象の關係等からして、對ソ作戦

は幾多の制約を受けるであらう。

## 第二戦線問題

久しく喧傳されてゐた米英の對獨  
第二戦線構成問題こそは、今年におけ  
る歐洲戦争最大の問題であらう。龍頭  
蛇尾に終らんとしてゐる南部イタリア  
戦線の戦況打開のためにも、はたまた  
スターリンの切望に對しても、米國內  
の政治的に微妙な關係からしても、米  
英としては本年前半期において歐洲第  
二戦線構成の必要に迫られてゐるとみ  
られ、カイロ、テヘラン會談は正にこ  
れを協議したものであるとの推測は、  
各方面の一致した見解であつて、現に  
ルーズヴェルトは、去る十二月二十四  
日のクリスマスマス前日、

一、余は地中海方面旅行を終へて歸來せ  
り。本旅行間、余は英ソ重慶三國の指導者  
と會見して現下の軍事問題、特に敵に對す  
る成功的攻撃計畫の問題につき協議せ  
り。しかして右の結果は、近き將來におい

制三分は米軍であらう。従つて總司令  
官が米將となるのは當然だといふわけ  
である。

そのほか派遣軍空軍司令官としては、  
英空軍中將ライ・マロイ、副司令官とし  
てテグダーを任命してゐる。米作戦に當  
り空軍の演ずる役割は大きく、空軍は  
北阿作戦における同様、戦術空軍を編  
成し、米空軍も陸軍における軍集團と  
同様の編成を作り、この両者が派遣軍  
空軍を編成することであらうとみられ  
てゐる。

陸軍はオリアンタ作戦と同様、米英  
の二軍より成り、英軍は英國兵とカナ  
ダ兵を含め、モントゴメリーが司令官  
となつてゐる。

その他、北阿方面軍司令部と中東方  
面軍司令部とを統合し、地中海方面軍  
司令部を形成した。これは最近のドネ  
カネス島嶼の失敗が、この指揮分割の  
不利を示したので、これが訂正を企圖  
してのことであらう。その最高司令官

に英陸軍大將ウィルソンを任命してゐ  
る。これに伴ひ英陸軍大將バケットが  
彼の後任として中東方面軍司令官とな  
り、米中將エーカーが地中海方面軍  
司令官に、米中將ビウアースが地中  
海方面軍司令官となつた。

またイタリア作戦に對しては、従來  
アレキサンダーが第十五軍集團の司令  
官であつたが、彼は同時にアイゼンハ  
ウアーの副司令官であつて、少數の幕  
僚を有し、作戦のみに責任をもち、軍  
政方面は北阿司令官が當つてゐるので  
あるが、今後は十分な幕僚を持つて軍  
政方面にも當るべく、ウィルソンの麾  
下ではあるが、ウィルソンの擔當區域  
が大なるため、アレキサンダーはさら  
に大なる内容を與へられるであらうと  
みられてゐる。

最後にドイツに對する空襲をますます  
強化する目的で、米中將スパーツが  
新たにドイツ攻撃の米戦略空軍司令官  
となり、第八飛行師團(中將ドリットル

て地球上の各所において現はれ來るべし。

一、テヘラン會議は三日に亘り實施せられ  
たり。我等は大規模なるドイツ總攻撃の方  
法について協議せり。即ち赤軍は依然とし  
て東方より攻撃を繼續し、アフリカ及び伊  
國にある聯合軍は南方より強襲を加へ、  
別に優勢なる英米聯合軍をして他の方向  
に作戦せしめることにより、ドイツを完  
全に包圍せんとするものなり。この他の  
方向に作戦する英米聯合軍はアイゼンハ  
ウアー將軍によつて指揮せらるべく、こ  
れがため同將軍は、地中海方面の聯合軍  
の指揮をチャーチルによつて指命せらる  
べき英軍將校に譲渡する豫定なり。

と歐洲第二戦線について相當はつきり  
したことを述べてをり、その後、この派  
遣軍司令官として北阿作戦に米英兩軍  
を指揮したアイゼンハウアーを最高司  
令官として任命してゐる。米國上院軍  
事委員ジョンソンの述べるところによ  
れば、いはゆる第二戦線構成には、英  
國は空海軍において強力な部隊を送る  
も、陸軍は當然米軍が多數を占め、七

を司令官に任命し、第九飛行師團(中將  
トヴィリングを司令官に任命)の戦術  
部隊を統合し、英本土と南よりの空襲  
を強化するであらうとみられてゐる。

以上、來るべき歐洲侵入米英軍の編  
成軍首腦部の發表を行つたのである  
が、これに關聯して、情報によれば最  
近地中海方面にあつた上陸用舟艇を英  
本土に制航し、英本土南岸に多數の艦  
船を集結してをり、また英本土内にお  
いても軍隊の移動が活潑で、これがた  
めに鐵道輸送が非常に活氣を呈してを  
り、英空軍が將來上陸地點と豫想され  
るフランス大西洋岸の獨軍事基地に對  
し、最近本格的な集結攻撃を行つてゐ  
ること等からして、第二戦線の構成近  
しとみる向きが多くなつて來た。

## ドイツの對策

かつて鮮やかな電撃作戦で歐洲大陸を  
席巻した當時のやうな積極的・攻勢的  
な形で見ることが出来ないのであらう

が、しかし我々はこれを最も困難な情  
況における内線作戦指導の間におい  
て、はつきり認められるのである。

即ち廣大な東部戦線において優勢な  
ア聯軍の猛進を必死に喰ひ止め、前大  
戦で食糧封鎖の飢饉戦によつてドイツ  
國民の抗戦力を内部から崩潰したその  
食糧封鎖をテロ爆撃に置き換へて、同  
じ効果を狙つてゐる敵米英の空爆に對  
しても、敢然として叩き返す用意を  
まささざりないドイツ國民の頑張り強  
さの中に示されてゐる。

獨軍の公表によると、昨年中にドイ  
ツの大申五十四の都市が敵米英の空爆  
の慘禍に見舞はれてゐる。ベルリンだ  
けでも前後十三回の空襲で一万五千  
トンの爆弾が投下され、そのためベル  
リンの一區劃は完全に破壊され、恰も  
數十日間もの市街戦で焼土と化したやう  
になり、またハンブルグ、ライン地方  
の小都市から數百萬と思はれる市民が  
完全な寢床を奪はれた。

かういふ慘禍に見舞はれたならば、普  
通ならば忽ち恐慌が起るところである  
が、これに對する防空対策は行届いてゐ  
た。老人、女子供はあらかじめ避難させ  
てあつたこと、警察力や秩序の維持と  
組織が確立してゐたこと、炊出し、假宿  
舎などの應急救済設備が手廻りよく整へ  
られてゐることなど、ドイツ人の組織的  
な優秀性、技術的な對策準備宜しきを  
得たことによつて、空襲による秩序混亂  
は防ぎ得たといへるが、その根本には戰  
時下ドイツ國民一人々々の士氣が、今  
なほ高度に維持されてゐるからである。

否、或る場合においてはますます  
敵愾心を昂揚し、國民の戦意を強化し  
てゐる。ドイツの軍事施設、或ひは  
軍需工場に對する今日までの被害は、  
殆んど問題とすべき程度には達して  
ゐない。それなのに敵側では、早く  
も「ドイツの崩壊は近し」とか、「最近  
食糧を増配したのは、單なる一時の糊  
塗政策に過ぎない」などと希望的なデ

マを飛ばしてゐる有様である。

現にガントツミューラー運輸省次官も、  
「交通網が完全に整備され、その機能  
が空襲下でも最高度に發揮されるのは  
四四年である」と言つてゐる位である。  
しかし何といつても、盟邦ドイツに  
とつて本年が多事多難な年であること  
は否定できない。一月元旦、ヒトラー  
總統も國民並びに國防軍將士に告ぐる  
の布告を發表、この最も困難な情勢  
打開のための悲壯な決意を披瀝し、  
ドイツの現狀は、恰もその昔の七年  
戦争の時と同じであるといつてゐる。  
それはフリードリッヒ大王が苦戦に  
次ぐ敗退を重ねながら、最後に大勢を  
挽回し、遂に最後に勝利の榮冠を贏ち  
得たといふドイツ歴史の一頁が、今ま  
た再び廻り來つたといふのである。

この新らしき年がドイツにとつて如  
何なる年であるか、これについてヒト  
ラー總統は、  
「ドイツに更に多くの苦難を課するであ

らう。しかし一九四四年における我々の  
使命は、従来の純正防衛の時期を克服し  
て、わがドイツ國民が當然から得べき最  
後の勝利を戦ひとるまで、敵に痛手を與  
へるにある。當然、敵國軍は四フランス  
海岸、バルカン、或ひはノルウェー、オ  
ランダ、ポルトガルに上陸を企圖してゐ  
るであらうが、敵が我々を驚かす以上、  
我々は萬全の對策をもつて敵を驚かすで  
あらう。余はドイツ國民に百パーセント  
の確信を以て上陸敵軍を粉砕し得ること  
をこゝに誓約する。」

と戦局の前途は多難であり、苦難が倍  
加するであらうが、しかし攻勢の主導  
権は必ず奪還すると宣明した。しかも  
これは堅なる強がりの抽象論ではな  
く、主權奪還の基礎をドイツの發明  
精神に置いてゐることは、敵側も恐れ  
を以て揣摩臆測してゐるところである。  
かくて歐洲戦争は、新らしき年と共  
にやうやく決戦段階に入らんとし、兩  
陣營相互の眞劍勝負が近い時期に決せ  
られようとしてゐる。我々は切に

盟邦ドイツの健闘を祈り、その必勝を  
信ずるものである。

### 大東亞戦争

大東亞戦争を回顧してみると、第一  
年は皇軍の電撃作戦により連戦連勝、  
以て戦略的に、經濟的に、當初の作戦  
目的を達成した年であり、第二年はこ  
の大戦果を速かに戦力化するやう物的  
に、心的に一切の施策が進められ、し  
かも敵はこれを妨害、阻止すべく反攻  
し來り、各地に局地の攻防戦が展開さ  
れた年であつた。

とくに、昨年十一月一日、敵のプー  
ゲンビル島上陸作戦開始以來、彼我の  
激闘はプーゲンビル島よりギルバート  
諸島、さらにニューブリテン島方面に  
まで進展して來つた。この方面の敵作戦  
指導の着想は、あくまでも飛行基地の  
獲得にある。現に、敵はプーゲンビル  
島トロキナ附近に飛行場を擴張整備中  
であり、マキン、トラワ島方面におい

ても既に飛行場を整備し終つてゐる模  
様である。

敵は飛行基地の獲得、推進により、  
さらにニューブリテン島を當面の攻撃  
目標としてゐることは明らかである。  
現にニューブリテン島西南岸マカス  
岬附近とグロースター岬東西に上陸し  
た敵は、上陸地點の確保に必死の努力  
を拂つてゐる。この敵の企圖に對し、  
わが陸海軍第一線部隊は、寡兵常にこ  
の攻勢に對し多大の人的・物的損害を  
與へ、皇軍の眞價を遺憾なく發揮して  
ゐる。最近の情報によると、プーゲン  
ビル島作戦における日本軍の損害は二  
千以下であるのに、米軍の損失は二万  
以上であつたことは、米國當局が躍起  
になつて宣傳する戦勝宣傳の裏ニュー  
スとして米國市民の關心を高めてゐる  
ことである。

### 敵戦力の實情

こゝで敵米英の抗戦力について一應

の検討を加へてみよう。

まづ米國であるが、現在米陸軍省の發表によれば、昨年九月における陸軍兵力は七百三十万で、この中には黒人も一割位を占め、そのうち二百万は海外に派遣されてゐることであらう。去る十二月二十四日のルーズヴェルトの放送では、現在三百七十万を海外に派遣してゐるといふことである。その中でも航空兵力を重要視し、さきの参謀長マーシャルの年次報告によると、陸軍七百万のうち、航空兵力は、二百五十万に達することである。

以上述べたやうに甚大な軍備の充實を期さんかたは、その軍需生産もまた甚大ならざるを得ない。即ち昨年中頃における男女勞務者は、その數五千四、五百万で、うち女子一千七百万といはれる。これは男子生産年齢人口中、軍務に服する七、八百万を除いた數、三千四百万を超過する數字で、米國內はいまや老幼者をも使用して餘りなし、といふべき程度に達してゐるのではないかと考へられる。

從つて米國の誇る生産力の向上も、人的資源の點から規制されてしまつてゐる。それに軍備擴充に伴ふ勞働力の低下、さらに原料資材の缺乏もいよいよ激しくなつて來てゐること等からみて、生産力も現在が概ね頂點であらう。しかし航空機、とくに重爆撃機の生産に關する限り、今後もなほ若干の向上をみるものと考へられる。

### 敵の對日進攻作戦

さて本年の大東亞戰局が如何に推移するであらうかは、いまこゝに言明し得ないが、これは敵の出方によつて大いに變化する。そこで今、米國の對日進攻論なるものの傾向を言論の論調によつて觀察してみよう。

であるとなす論、殊に政府、軍當局筋の言葉に多い。

對日進攻作戦は同時に敵方向から開始し至短期間に戦勝を収めなければならぬ。またそれは可能であるとす論

最近の太平洋方面の日本軍の頑強な抵抗に遭ひ、戦勝は容易ではない。従つて戦争は明年以降に長期化するとの論

速かに對日本土空襲基地を推進し、日本本土を空襲し、戦力の根源を破壊すべしとなす論

日本と南方資源地との海上交通を遮断し、南方重要資源地を空襲し、日本の戦力を凋落さすべしとなす論

南軍政權の援助、殊に對日空襲基地を強化して、日本本土及び海上輸送路を破壊すべしとなす論

南ペリアに飛行基地を獲得すべしとなす論。特にこれを歐洲第二戦線構成の代價となせとの論

速かに英印軍のビルマ奪回作戦を進めしめ、以て太平洋進攻作戦を容易ならしめよとなす論

以上、米國の當局者、言論機關の代表的意向を擧げたが、これによつても、

米國の企圖する對日進攻作戦なるものの概貌が想像できるであらう。

しかし一面においては、この進攻作戦を早くも疑問視し、ルーズヴェルトの心中に一抹の暗影を投げかけてをり、これは去る十二月二十四日、ルーズヴェルトが談話の最後、これを國內政争の具に供する馬鹿げた者がないことを希望すると、特に附言したことによつても推察されるのである。

英國も最近、對日積極論が盛んになつては來たが、英國當面の目標は何といつても歐洲戦争にあり、大東亞戰争については米國道義主義たらざるを得ない實情である。

### 太平洋戦を決するもの

いまから約三十五十年前、英國のフレックが、イスマニアの無敵艦隊を打ち破つて大英帝國の基を開いた大海戦以來、ネルソンのトラファルガー海戦、東郷元帥の日本海海戦、前歐洲大戰の

ジョットランド沖の大海戦、それ等を經て大東亞戰争の直前に至るまでの間、木造の帆船から鋼鐵艦に變り、また明治以後になつて魚形水雷の發明があり、水雷艇が生れ、潜水艦が出現して海上戦闘に大きな變化が齎されたのであるが、この三十五十年前、海上武力の王者たるの地位は、戦艦がずつと占めてゐたのである。

ところが航空機の偉大な發達によつて戦術に一大變革を來し、航空機が海上戦闘の王者となるに至つた。これは空前の大變化であるといはなければならぬ。この様相は大東亞戰争開始以來、數次の戦闘によつて立證されて來てゐるのであつて、制空權なきところ制海權なく、制海權なきところ兵力機動の作戦もなければ、兵站、補給の途もないことになる。

飛行機の優越性は、その偉大な機動力、攻撃威力、補充力とに存する。しかも無線兵器の進歩によつて空中のみ

ならず直接海上、夜間といへども威力を發揮し得ることになった。

さて、これを太平洋方面戦闘の實相に照らしてみるのは、今日までのところ我が航空勢力は、遺憾ながら敵に比し劣勢であるといはなければならず、これがガダルカナル作戦以來、戦勢が押し氣味となつて来た根本原因である。

昨年以來、ソロモン方面航空戦の彼我損害の比率と兵力比とを檢討してみるのは、勿論我が方は寡を以て衆を制してゐるのであるが、敵に對して比率が良好になると、戦果はこれに倍して上つてゐるのである。そこで我々は、何としてでも飛行機を増産し、優秀な航空戦士を多数に送つて、戦勢の主導權を奪回しなければならぬ。

我が軍、政府當局は先般、航空機増産のため國力の總力を發揮すべき態勢整備を決し、着々これを實行に移しつゝある。従つて本年は、日と共に航空機は増産され、従つて航空戦力は飛躍

的に向上し、こゝに日米兩軍の太平洋主導權争奪戦が展開されることにならう。我々は斷じてこの主導權を奪回しなければならぬ。

この航空機増産に必要なくべからざるものは船舶である。従つて大東亞戦を決定する主要兵器は、飛行機と船舶とであるといへる。

### 敵の謀略工作

世界戦争は、活潑な運動状態から持久消耗状態に漸次移行して來てゐる。戦闘の激化に伴つて戦争の要求は、日一日と國民の日常生活を脅かしてゐる。これは交戦國いづれも同様を受けつゝある苦しみであつて、たとひ米國民といへどもこの例外たり得ないことは、最近、交換船によつて歸朝した人々の實見談によつても極めて明らかである。

従つて、これからのいよゝ思想謀略戦の活躍時期である。この意味から

して本年は、日と共にこの方面の戦ひが激化することが豫想される。何しろ敵米英の戦争黒幕なるものは、ユダヤの世界征服であつて、その着想は深遠であり、雄大であり、巧妙である。最近、再三開催された米英ソ等の首腦者の諸會談の如きは、まことに念の入つた新型の謀略である。これによつて如何にも米英側が既に勝ちを制したやうな錯覺を起させるやうな巧妙な謀略を、國内外、ことに中立國、樞軸國、余下の諸國に向つて行つてゐる。

もちろん、これに對し我は、明々白白たる大東亞戦争の目的と理想とを有し、しかもこれが着々と據據に具現されてゐる。昨年十一月五、六日、東京において開催された大東亞會議の如きは、東亞民族多年の夢を實現したものであつて、正に歴史的に東洋史を一新し得たものといふべきである。

しかし戦闘の激化、その慘禍の増大するに従つて、斷じて敵の謀略に乗せ

らるゝことなく、必勝の信念を堅持して進まねばならぬ。

以上述べたことによつて世界戦局が如何に推移するであらうかは、だいたひ想像できよう。決戦第三年である今年は、昨年よりもさらに苛烈な戦ひが各所に展開されることは必至で、いはゆる我の膚肉を切らせて敵の骨を切るの戦ひとなる。敵の反攻が熾烈化するに従つて、敵撃滅の好機はいよゝゝ増すことになる。戦争第二年における敵の損害四十万なれば、今年は須らく百万となし得る年である。

そしてこの惨憺なる決戦をして光明ある完勝たらしめるの方途は、一に懸つて一億國民の努力如何にかゝつてゐる。いよゝゝ必勝の信念を堅持し、鐵石の團結を固め、七生報國の至誠を以て各、その職分に奮闘するとき、敵何するものぞである。

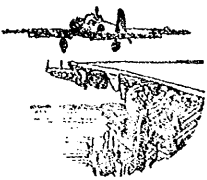
いまや皇軍將兵は一身一家を顧みることなく、あらゆる困苦缺乏と戦

つて敵に當りつゝあり、銃後國民もまた悉く戦闘配置に就き、一意戦力の増強に邁進しつゝある。大東亞の諸民族もまた皇國同胞と共に相携へて大戦争完遂に協力しつゝある。今年もまた戦勝の年たらしめ得ることは申すまでもない。我々は皇國の必勝を信じ、一切を戦ひに勝つために捧げ、最後の御奉公をなすべき秋であることを考へ、相互に奮勵努力せねばならぬ。

### 戦時官吏職務令

政府では、昨年九月二十二日閣議決定した「國內態勢強化方策」中で、一層官紀の肅正を圖るために必要な措置を講ずることと決定。その後、具體案を練つてゐたが、戦時官吏職務令の成立を得、翌二十九日樞密院に付議可決、御裁可を得て、去る一月四日付官報號外をもつて公布、即日施行した。

- 一 官吏は戦時特に其の責任の重大なるを自覺し不遑不撓努力と工夫とを盡して其の職務を貫徹すべし
- 二 官吏は戦時特に眞摯不欺の省察を遂げ常に眼を大局に投し和衷協力施策をして悉く征戰の完遂に奮與せしめんことを期すべし
- 三 官吏は戦時特に部下に對して其の向ふべき方針を明示し躬を以て之が統率指導に任ずべし
- 四 官吏は戦時特に上司の命を遵守し時機を失せず應答の遂行に邁進すべし
- 五 官吏は戦時特に民情の體察を敏し懇切丁寧を以て事に當るべし
- 六 官吏は戦時特に廉潔の風を重んじ修身齊家率先垂範を以て世の儀表たるに力むべし
- 七 官吏は戦時特に其の實績を被擧すると共に職務の保持に細心の注意を拂ふべし



# 太平洋戦局の新展開

大本營海軍報道部

## 輕視を許さぬ敵の戦意戦力

昨年十一月下旬のブーゲンビル島沖及び同月下旬のギルバート諸島沖海空戦によつて、戦局はこゝに一大轉換をなすが如く同往されたのであつたが、敵の戦意戦力は其れも衰へた模様がなく、一切の解決を昭和十九年に持ち越すに至つた。

即ち敵は、ソロモン方面で十月二十七日のモノ島上陸以來、十一月十七日の第五次ブーゲンビル島沖航空戦まで僅か二十二日間に、戦艦六隻、空母八隻をはじめ、艦船實に八十隻を撃沈、飛行機五百三十機を撃破され、

一方、ギルバート方面では、十一月二十九日の第四次ギルバート諸島沖航空戦まで十一日間に、空母十一隻以下、艦船二十二隻撃沈、飛行機百二十五機撃墜といふ大痛打を受けたにも拘はらず、十二月三日には第六次ブーゲンビル島沖航空戦、同じく五日にはマールシャル諸島沖航空戦が生起したのを始め、同十五日にはニューブリテン島マールカス岬附近に、また二十六日には、グロースター岬附近に突如、上陸作戦を敢行し、海軍長官ノックスは、「太平洋反攻作戦においては、準備戦の時代は既に終つた。これから米國軍の本格的な攻撃作戦が開始されるのであり、日本の急所に必ず大痛打を加へるだらう。我

我は今や太平洋戦域において本格的攻撃を開始するに十分な訓練済みの兵員と軍需品を用意した。」と、僅々四十日間に艦船百二十隻以上、飛行機七百三十七機以上といふ大惨敗を物ともせず、これを以てなほ且つ豫備的段階であり、本格的作戦はこれからであると言語してゐるのである。

ブーゲンビル島トロキナ岬に足掛りをつくつた敵が、同島を我が重要據點ラバウル攻撃の跳躍臺だと稱して、盛んに兵力の増強や飛行基地の建設を急ぐとともに、マールカス、グロースター方面とも上陸部隊の増援補給に努めてゐることは、ラバウル爆撃の強化とともに周知の通りであつて、同方面の敵

機の來襲延機数が、十一月の六千五百機に對して十二月は約一万機に達してゐる事實は、その作戦企圖を端的に物語るものとして指摘されなければならない。

他方、ギルバート諸島方面でも、タラワ、マキン兩島を基地化した敵は、マールシャル諸島方面に反攻の觸手を伸ばして、その來襲機數と同數は、年あらたまると共にますます増加の傾向にあり、敵最近の反攻は、その宣傳攻勢と共にいよゝゝ積極化する状況であつて、その戦意、戦力は斷じて輕視するを許さない。

## 太平洋全水域を舉げて總反攻

正しく敵最近の反攻は、我が大東亞建設に焦慮すると同時に、生産力の上昇點に達した現在、我が戦略要線に對して本格的な同時作戦を開始したものであつて、その世界に呼號する大航空兵力を展開するための基地を確保推進

すべく、ソロモン方面の戦局がいよいよ航空基地争奪戦を中核として熾烈となり、ギルバート方面の戦局が、ノックスが

「マールシャル、カロリン等の内南洋を経て、直接日本本土の攻めを目指す新攻勢の開始を意味するものだ。」と高言するやうに、ますます激化の一途を辿るであらうことは、火を賭すよりも瞭らかである。

しかしながら我々は、敵の反攻はこの方面ばかりであるといふが如き近視眼的錯覺に陥つてはならない。内線作戦の戦略的優位に立つ我が大東亞圏が、如何に壓縮し難いものであるかは、敵の軍事專家が口を揃へて論斷してゐるところであり、現にルーズヴェルト自身、

「大東亞圏は鋼鐵の包圍網であり、これを突破するためには數ヶ所を連続的に攻撃を加へなければならぬ。」と告白してゐるやうに、その突破作戦の困難性を最もよく知つてゐるのは敵

自身である。

従つて、ソロモン、ギルバート作戦も敵の總反攻の一環として把握せねばならぬのであつて、近電によれば、北方アリューシャン方面には、最近、上陸作戦用と思はれる特殊部隊や、艦艇、軍需品がアラスカ公路を最大限に利用して集結中であると傳へられ、さらにまた我が東洋上には依然として有力な敵機動部隊が遊弋してをり、或ひはビルマの奪回を企圖するマウントバッテン、または我が本土爆撃を担ふ在支米空軍の増強等、敵の總反攻は、太平洋の全水域を舉げて一舉に決行されるものと覺悟せねばならぬのである。

最近、太平洋艦隊司令長官ニミッツは、「我々は飛行機や軍艦で日本を攻撃するのみでなく、直接、日本本土に軍隊を揚陸せねばならぬ。」と暴言を吐き、軍事評論家また

「日本攻撃の主作戦は本土攻撃にある。その他の作戦はすべて豫備作戦である。」





と執拗に我が本土攻撃を窺つてゐるやうであるが、それと同時に、我が南方資源地帯との動脈である海上補給路の妨害遮断工作をますます擴大せんと企圖してゐる事實は見逃し得ないところである。

いづれにしても作戦部長キングが、「過去数ヶ月間、反機艦軍は、歐洲より兵力を引揚げてこれを太平洋方面に移動させる可能性について考慮を重ねて来たが、その移動が行はれる時は、とりもなほさず對日反攻作戦の骨組が決定された時であり、日本を降伏させるための戦術が續いて案出されることになつてゐる」と揚言するやうに、歐洲戦局の推移とともに、太平洋戦局がいよいよ決戦態相を醸成、露呈するであらうことについて、否定すべき何等の材料もないのである。

### アメリカの軍需生産動向

さて、こゝでアメリカ最近の軍需生

産の動向について觸れてみたい。それは多くの點において今後の敵作戦企圖を示唆してゐるからである。

まず第一に、アメリカが航空機の増産に主力を注いでゐることは、あらためて多言するまでもないが、一昨年の生産目標六万機が、昨年は十二万五千機となり、陸軍航空部隊司令官アールドは、去る四日、

「米國は、来るべき十五ヶ月にあらゆる種類の飛行機十四万五千機の製作を實現し、さらに目下製作中の超重量機をも本年中にその威力を發揮せしめるであらう」と、今後の増強方針を明らかにした。なほ昨年十月の月産高は、八千三百六十二機、十一月は八千七百八十九機であつたと外電は報じてゐるが、この月産高はますます高まる模様で、戦爆あらゆる機種に亘つて新鋭化を狙つてゐる。

こゝで、我々の注目せねばならぬのは、目下大量生産中であるといはれる

く努力してゐることは、しばしば報道されてゐるところであるが、ノックスの言明によれば、四万五千トン級超大型空母三隻、二万五千トン級空母二十二隻の建造に着手し、昨年一月から十一月下旬までの竣工機四百十九隻のうち空母四十隻が含まれ、十一月一ヶ月間に、あらゆる型の空母十二隻が完成したとのことである。

アメリカは、これら航空戦力の増強のみでなく、艦船の建造にも拍車をかけてゐるのであつて、全米製造業者協会は、

「米海軍が現在擁する艦艇勢力は、一九四一年當時の十三倍に達する」と發表し、ノックスは、米國の艦隊勢力は昨年十一月で前年度末の艦隊勢力のちやうど二倍になつた。そして一九四四年は、四三年以上の大量艦艇を断行すると公言したのであつた。

一昨年進水した四万五千トンの超弩

級戦艦アイオワ、ニュージャージーの姉妹艦であるウィスコンシンが昨年末進水したことは人のよく知るところで、このほか多数の戦闘艦艇が建造され、特に最近海上陸用舟艇が大量に建造されてゐることが注目される。

即ち、海軍艦船局長エドワード・コックレーンは、

「海軍の計畫は、あらゆる型の上陸用舟艇八万隻を建造するにあるが、このうち二万五千隻は既に完成した。しかして今後建造される舟艇は、専ら對日戦を目標とするものだ」と言明し、

「今後上陸用舟艇の建造に對しては、最大の優先権を與へる」と戦時生産局は聲明して、目下、これが建造に狂奔してゐるのである。現代戦の特徴である大消耗戦に對する大補給戦が特に「海を距てた戦争」において、専ら船舶によらねばならぬことは勿論であつて、戦時海運局長官エモ

新大型超重量機 B20 であつて、アールドの言明するところによれば、これを以て對日空襲に乗り出すのととで、自重四十二トン、爆弾搭載量八ト

ン、大西洋を無着陸で往復することが出来、同機の出現によつて現在の長距離機または重量機は、すべて中型機に格下げされるだらうと傳へられてゐる。戦時情報局は、同機は三月頃作戦に参加するだらうと發表してゐるが、このほか B40 といふ「航空巡洋艦」も出現したといはれ、現に、マールカス岬附近に米陸軍の最新鋭機リパブリックランサー P43 單座戦闘機が登場したと傳へられるやうに、航空決戦の今日、航空機の量的増強も必要であるが、それと同時に、新性能機の多種多量生産が絶対必要であつて、現代戦がいよいよ科學戰の相續を呈しつつあることを銘記せねばならぬ。

次にアメリカが最近、頗る航空母艦の戦法並びに建造に新機軸を出すべ

### リトランドの

「十二月中には、商船百八隻、二百四万四千二百三十九重量トンが建造され、従つて一九四三年度における商船建造總數は千八百九十六隻、千九百二十三万八千六百二十六重量トンに達した。かくて米國は今年度の戰時要求を充足し得る船舶を建造したが、本年度の造船計畫は、量より質をねらひ、その上快速であること、即ち陸海軍用特殊艦でリパター型を少くし、ビクトリー型を多く造る」との去る一月四日の發表は、如何にアメリカが船舶の建造能力を擧げることによつて補給戦を有利に戦はんかとの意志表示にほかならない。

以上、アメリカの軍需生産の最近における特徴的なものを擧げたのであるが、アメリカはこれら物的戦力の増強とともに人的戦力の増強を忘れてゐるのではない。

最近、飛行機搭乗員は毎月陸海軍合せて二万名づゝ養成されてゐることこ



とであり、またテキサス州のフォート・ワースの陸軍飛行学校では、一年間に十万人の飛行士が養成されるといふことである。

また一方、商船幹部養成のため、ロングアイランドにアメリカ最初の官營商船学校が開設されたとの情報もあり、徴兵局は、この六月までに陸海軍兵力を一千三百万にまで擴大する計畫の下に、同期間に二百方の新規徴兵を行ふとも發表してゐる。ともあれこれ等の報道の中には、多分に宣傳的ものがあるとしても、現在アメリカが必死となつて物心両面の戦力増強に發進してゐる事實を看過してはならない。

### 一 反攻撃 推から

今年が世界史上、決定的な年の一つになるであらうことは、既に敵もこれ

を強調して全國民に警告してゐるのであるが、我々にとつても今年こそは戦局の歸趨を決定すべき決戦必勝の年でないといけない。我々は今こそ戦力を飛躍的に増強して、ひとり敵の反攻を撃退するのみでなく、さらに一大進攻作戦を展開して敵の抗戦意志を徹底的に粉砕撃破せねばならぬのである。

現代戦が大消耗戦であり、大補給戦であり、大科擧戦であり、しかもこれ等の戦いが同時に且つ有機的に固く結びついて行はれてゐる總力戦の性格を正しく認識し、そしてまたタラソ・マキン兩島における四千五百名の勇士の壯烈なる玉碎

を想起するとき、現戦局の我々に要請するものが何であるかは一目瞭然であつて、この目前の戦機を最大限に活用するものに對してのみ勝利の榮冠は授けられる。

我々は今こそ、第一線の將兵が全員神兵であるやうに、各々の戦闘配置において、全員神兵となり、今年をして眞に決勝の年たらしめねばならぬのである。

を強調して全國民に警告してゐるのであるが、我々にとつても今年こそは戦局の歸趨を決定すべき決戦必勝の年でないといけない。我々は今こそ戦力を飛躍的に増強して、ひとり敵の反攻を撃退するのみでなく、さらに一大進攻作戦を展開して敵の抗戦意志を徹底的に粉砕撃破せねばならぬのである。

| 文部省                          |                  |
|------------------------------|------------------|
| 十二月分 推薦圖書                    |                  |
| 小説                           | 名 編著者 大 賣價 發行所   |
| 秋葉 廣瀬 窓 小 西直直 B六 一九 文教書院     |                  |
| 技術 論(改訂版) オイゼル B六 一七 甲女堂書店   |                  |
| 日本工業労働力論 奥野昌時太郎 B六 一七 甲女堂書店  |                  |
| 一般 昭南日本學園 神保光太郎 B六 一七 愛之書院   |                  |
| 國民電氣讀本 武田元雄 A五 三二 山海堂        |                  |
| 蘭水の世界 中野守吉 B六 二〇 甲島書林        |                  |
| 兒童 ぼくの瀛洲旅行記 田中修一郎 B六 二〇 金の屋社 |                  |
| 加多野傳                         |                  |
| 空の軍 神 菊池 寛 A五 一〇 大日本 飛行協會    |                  |
| 鐘                            | 謀谷健哉 B三 三〇 海洋文化社 |

## 國民徴用 (2)



十二月一日號掲載「國民徴用問答」に對して讀者から寄せられた質疑に對する厚生省の回答

問 進んで應徴しよう

徴用検査を受け、また徴用令書の來ないうちに、進んで軍需工場に轉職することは出来ませんか。(愛知県 伊藤信男)

答 出来なことはありませんが、徴用令書が交付されると、またそこを退職せねばなりません。進んで軍需工場に轉職する氣持なら、徴用の出頭命令書が交付されない以前に、直ちに重要工場に挺身されることを望ましいと思ひます。

問 進んで應徴した者の授護

「進んで應徴」といはれてゐますが、徴用を待たずに自主的に軍需産業に轉職し

た者には、徴用授護は適用されませんか。(愛知県 山田忠)

答 現在のところ適用されてはおりませんが、企業整備によつて轉職する方に對しては、職を離れた後と新たに就職しても収入が少い間とを合せて九ヶ月間、生活授護の制度が設けられてをります。

また男子従業禁止によつて轉職する方に對しても、これに準じた取扱があります。詳しいことは大日本産業報國會の都道府縣支部でお尋ね下さい。なほ、念のため申しますが、自主的な轉職者であつても、軍需工場に入つてから現自徴用を受けた場合や、その軍需工場が軍需會計徴用規則によつて指定され、その人も軍需應徴者になつた場合などには、その人は、「國民徴用問答」二十三頁至三二頁に示された

現自徴用者に對する徴用授護の取扱によつて授護を受けます。

前職を整備された應徴士

問 應徴中に前職場が企業整備されてしまひましたが、私の身分や解雇後の職場はどうなるのでせうか。(深川 孫田忠)

答 企業整備は我が國の戦力、特に直接戦力を飛躍的に増強するために實施されたもので、整備された事業の設備、勞務者は擧げて重要産業に重新配置されるものです。貴方の元の職場は、その國策に副つて廢めたのです。應徴中の現在の職場は、國家的に緊要な職場で、應徴期間が満了した後、引續いて勤務されることが望ましいのでありますが、どうしても他に轉職しなければならぬ事情があるときは、國民職業指導所で適職に轉換いたします。

徴用工場と家庭の連絡

問 獨り息子を應徴士として送り出した父親ですが、應徴後の素行成績、月収を

その他を心配してあります。同じ気持ちで通してある父兄も世には多いことと思ひます。國民學校通知簿のやうなものを作り、工場と家庭の連絡を密にし、職時増進に協力するやうにしたいと思ひます。いかゞでせう。(和歌山縣 一文見)

答 ご意見の通りです。應徴士は勿論、一般青少年工員の輔導上、家庭との連絡を重視し、郵便や訪問等によつて青少年の勤務状況とか、健康状態等を父兄に通知するやう工場を指導してまいります(一八、二〇開議決定。まだ不徹底の工場もあると思ひますから、今後とも督促いたします。

#### 補給・扶助・援護

問 補給と扶助と援護の三つが、一つの應徴家庭に與へられる順序はどうなるのか。(徳田合 原庄生)

答 本来からいへば、賃金と補給とでもつて生活を維持させ、それで維持が出来なければ、扶助や援護でもつて補ふことになりまますから、補給、扶助、

援護の順になるわけですが、具體的に時間的な順序から申しますと、援護、補給、扶助の順序で行はれるものと考へてよいと思ひます。

つまり補給が決定し、扶助が決定になるまでには、事實上相當の期間を要しますから、その間に經濟的に途方に暮れる虞れのある方には、應急援護の方法で取敢へず援護します。

さうしてゐるうちに、補給金も決まり、補給で足りないところは扶助の手續をしますから、扶助も追ひかけて決定になります。つまり援護、補給、扶助の順序で與へられることになりま

す。

#### 補給

問 補給といふ制度があれば、扶助や援護などの制度は全然不要なのではありませんか。(宇原 忠忠生)

答 さういつた言ひ方は、扶助や援護には留守宅の援護以外に、たくさんの仕事のあることを知らない人の言ひ分なのです。補給は通常の狀態での生活

に同一の程度の賃金を出させるやうにといふ／＼指導してゐます。なほ念のため申しますが、いまの説明は賃金だけで、これに補給金を加へますと、通勤としても百三十四の限度までの収入は保障される、つまり前述の賃金のほかに、四、五十圓の補給金が貰へることになつてをります。

#### 家族五人て百三十圓

問 私は満三十一歳の者で、扶養家族が四人をりますが、應徴して工場に入った當初は、だいたいの程度の賃金を受けるれますか。(徳田 隆平生)

答 だいたい八十圓から九十圓ぐらゐまでの賃金を受けられませう。

三十三歳以上四十歳未満の方の最高初給賃金は三圓五十錢ですが、これは経験、未経験の別なく三圓五十錢で、未経験で應徴する場合は、これよりよほど低く決められるのが普通です。いま二十九歳の人の未経験の場合の最高初給賃金をみますと、第一級地域、即

ち六次産業(農林水産)でも二圓十三錢ですが、これまた現狀では、この限度までは出してゐないで、よほど低く(もつと年齢階級の低い工員には、最高初給賃金の限度まで出してゐるのが通例です)決められてゐるのが實情です。

それで假りにあなたの本給を、一圓八十錢としますと、一ヶ月の就業日数を平均二十八日として五十圓四十錢になり、それに家族手当一人當り五圓、四人分二十四圓、初任手当一日三十錢の一ヶ月平均二十八日で八圓四十錢を加へて合計七十八圓八十錢になります。

そのほかに時間歩増、夜業手当、交代手当、精勤手当や特殊作業手当などの手当を加へますと、だいたい八、九十圓ぐらゐの賃金になるのが通例ですが、當局でもいまだ最高初給賃金の限度に近く賃金を出させるやうに、同時に、徴用實施工場ならば、どの工場でも新規應徴者に對しては、その初給

保障だけではなく、扶助や援護は、補給よりも遙かに廣い分野をもつてをり、業務上の傷病のため徴用解除になつた本人と、その家族の生活上の各種の世話もしますし、また私傷病の場合でも、健康保険などの療養給付期間満了後の延長援護もしますし、遺族の生活上の各種の世話や育英事業や職業補導まであります。

半から二年、平均三、四年もかれば大丈夫でせう。

つまり、満十九歳の最高初給賃金は一四五六銭、就業日数を平均二十八日とし、大概の管理工場で年齢の低い工員に對しては、最高初給賃金の限度まで支給しますから、その月額が四十三圓六十八銭、それに家族手当が一人五圓の四人で二十圓、それに初任手当一日三十銭の平均二十八日分で八圓四十銭、それだけで合計七十二圓八銭になります。

そのほかに特に本人が努力した場合に支給される手当類などを加へますと、だいたい七十五圓ぐらゐの収入はなりません。

しかし、補給を計算の中に入れて考へますと、満二十歳未満の基準額の五十圓に扶養家族補給四十圓を加へて合計九十圓までの基準前収は保障されることになり、時間歩増、夜業手当、交代手当、精勤手当、特殊作業手当その

他を加へますと、それ以上の収入になり、結局、百圓ちかくの實収入になることになりませう。

なほ、この計算は特別補給を除いての計算ですが、もし應徴したため家族と世帯を別にしたやうな場合には、このほかに十五圓だけ収入が殖えますが、恐らくそれ以上支出も殖えることと思はれますから、この方からは實際収入が殖えることはないでせう。

補給金はいつから貰へるか  
援護會で支給される補給金は、援護會創立以前に遡つて適用されますか。例へば一昨年に應徴した私の場合には、一昨年の分から補給金をもらへますか。

答 國民援護會で補給することになつたのは、昭和十八年四月一日以後の分からですが、あなたが應徴した當時から補給の制度はあつて、補給金は工場の事業主から支給されることになつてゐるのですから、一應工場の労務係の方に相談下さい。

貧富を問はず一律に補給  
資力の裕かな新規應徴者に補給を支給するのは、どうかと思ひますが、やはり支給しますか。

答 補給は基本補給にしろ、特別補給にしろ、新規應徴者の家庭が裕福だとか貧困だとかといふことには全く關係なしに支給することになつてゐます。

その點は工員の給料や官吏の俸給などと同一取扱で、別に不合理ではないと思ひます。

特別補給は永久に支給  
特別補給は、家族と世帯を別にしてゐる限り、應徴者の賃金がいくら昇つても永久に支給されますか。

答 さうです。電が二つになつてゐますと、通勤者に比べて何かと出費が多いので、それを補ふといふ趣旨ですから、賃金がいくら昇つても、それには關係なしに支給されることになつてをります。

## 反軸樞の外交動向

昨十八年における世界戦争の軍事的方面は、東亞においては米軍の太平洋反攻作戦の激化があり、ヨーロッパにおいては北阿戦線の終局、イタリヤパドリオ政権の降伏、獨ソ戦線におけるソ聯軍の反撃等、頗る重大な動きを示した。

これに伴つて外交方面においても、まづ東亞における支那の参戦を始めとして、在支租界の還付から十月三十日の日華同盟條約の締結に至る一聯の、いはゆる對支新政策の展開、ビルマ、フィリピンの獨立、自由印度假政府の成立、大東亞會議、カイロ三國會議等、劃期的な事件が相次ぎ、またヨーロッパに關しては、カサブランカ會議に始まり、ケベック會議を経てモスクワ會議、テヘラン會議、カイロ四國會議に至る米英ソ三國の外交攻勢の展開等、まことに波瀾萬丈の動きを示したが、しかも、これ等の外交工作によつて示された敵米英の謀略とソ聯の外交攻勢

とは、今後の戦局にも重大な影響を齎すものとして、その發展が注目されるのである。

會議に明け、會談に暮る

即ち、昨十八年における反樞軸外交の動きは、一月十四日から十日間に亘つて、北阿のカサブランカで開かれた米英第四次會議に始つたのであるが、この會議では對獨作戰が中心問題としてとり上げられ、いはゆるカサブランカ方式なるものが決定されたと放送されたのであつた。

しかし、東亞における米軍の反攻作戦が、我が皇軍將士の善謀功戦によつて甚大な損害を蒙りつゝあるのに加へて、支那の参戦、ビルマ、フィリピンの獨立實現等、逞しい大東亞建設の進展に對して、米國朝野には、「日本に時を稼がせるな」との焦慮不安が昂まり、主力を太平洋作戦に集中せよとの輿論が強大となつて來たのと、東部戦線に

おけるスターリンググラードの反攻に成功したソ聯が、その勢ひに乗じて全面的反攻に轉じ、一般の豫測を裏切つて夏期においても猛烈な攻勢を展開したのと相呼應して、外交においても積極的な動きを示し、ポーランド問題、第二戦線要求の問題を繞つて、米英ソ三國外交に幾多の波瀾を生じ、三月、英外相イーデンが米ソ關係調整のため渡米するに至つたのである。

次いで五月十一日から二十七日に亘つて行はれたワシントンにおける米英第五次會談で、敵側はカサブランカ方式に修正を加へ、東亞、ヨーロッパ両面同時作戦が決定された旨を發表し、アメリカ國內における太平洋第一主義の輿論と、重慶政権に対する偽裝的態度を表明したのであつたが、さらに七月末、イタリヤに政變が勃發するや、その直後の八月十一日から二十一日に亘り、カナダのケベックで米英第六次會談を開き、對イタリヤ工作を中心として協議する

と共に、米英ソ三國會談の開催を決意したのであつたが、これは敵米英が、イタリヤを中心とする情勢の變動を利用し、外交攻勢に出るためソ聯との關係を調整する必要から出たものであつた。

#### 米英、ソ聯に大きく譲歩

米英ソ三國モスクワ會談は、既に去る昭和十六年八月、かの洋上會談においてルーズヴェルトとチャーチルが大西洋憲章と共に決定したスターリン首相宛の對ソ援助共同書簡で提議したのであるが、その後、米英側から頻りに催促し、さらにカサブランカ會談では正式に招請したにも拘はらずスターリン首相は、事體難國を許さずとの理由を以て出席を拒絶し、代理者の参加さへしなかつたのであつて、その成否は三國關係の動向を示すものとして、各方面から注目されてゐたのであつた。

しかもケベック會談では、三國會談開催に關して公表されたにも拘はらず、會談の最中に突如、ソ聯政府はトヴィノフ駐米大使を召還するの舉に出たため、三國會談の成行きは更に一層世界の關心を集めたのであつたが、やうやく十月十九日から三十日まで、モスクワで三國首腦會談の前段である三國外相會談が開かれる段取りとなり、米國務長官ハル、英外相イーデン、モロトフソ聯外務人民委員以下の間に十二回に亘る會談が行はれ、さらに會談の途中、重慶代表として在ソ重慶大使傅秉常が出席したと發表されてゐる。

このモスクワ會談の決定として發表されたところのものは、會談の經過に關する三國共同公表のほかに、重慶を加へた一般安全保障問題に對する四國宣言、イタリヤに關する宣言、オーストリアに關する宣言、戦争犯罪に關する宣言の五箇の文書があつたが、三國會

談における中心問題とみられてゐた第二戦線問題とポーランド乃至はゲルマン、バルカン諸國に關する政治問題、國境問題に關しては、以上の各公表が何等言及してゐない點からして、この會談がそれ等の問題に對して意見の一致をみるに至つたかどうかについては、幾多の臆測が行はれたのであつた。

殊に會談に先立つ十月十三日、ソ聯共産黨の機關紙プラウダが、三國會談では専ら第二戦線を取扱ふべきであると強調した論説を掲げ、さらに會談後においても、依然として強硬に第二戦線結成の要求が主張され、またイギリスにおいては、同じく會談の最中の十九日、ロンドンに滞在中の南阿首相スマッツが、第二戦線は明年でなければ不可能であり、しかもアメリカの大軍派遣に俟つばかりではないとの辯解的演説を行つたこと等は、この會談では第二戦線問題については、何ら具體

的に決定されなかつたとの觀測を有力化するものであつた。

しかしながら、「まづ第一にドイツとその歐洲における衛星國に對する戦争期間を短縮するため採るべき手段に關し、周到、眞摯なる討議が行はれた」との公表は、相當の意味を有するものであり、十一月二日のプラウダ紙が「右會談の成果こそは、まさに對獨戦争の共同事業に對する諸國民の重要な寄與である」とし、「會談はソ聯國民が特に重大なる意義を附し、また現に附しつゝある戦争の短期終了といふことが先決目標であることを認め、……ドイツとその在歐與國に對する戦争の期間を短縮するために採るべき方針に關する問題の討議が行はれた」と指摘してをり、さらにゲッベルス獨宣傳相が十一月二十八日附のグスマイヒ誌上で「會談は或る點から今次大戦の政治的發展における分岐點をなすものと言へよう」と述べてゐるやうに、政

治的には注目すべきものであつたのである。

さらにまた、ゲッベルス宣傳相は、「米英兩國は、この會談においてソ聯の領土的要求を限定し得ると希望してゐたが、それは實現しなかつた」と述べてをり、アメリカ方面では、米英はソ聯に第二戦線延期を承認させるために政治問題の討議を譲歩したとの説が傳へられたやうに、米英側がソ聯に對して大きな譲歩を行つたことは疑ふ餘地はなく、國際外交におけるソ聯の進出はみるべきものであつたのである。

#### 焦慮の擧句のカイロ會談

モスクワ會談が終るや、次いでいよいよ豫てからルーズヴェルトとチャーチルが要請してゐたスターリンとの三巨頭會談が實現することにまつたと傳へられたが、それに先立つてルーズヴェルトとチャーチルは、スターリン首相との會談地に赴く途中、

カイロで蒋介石と會談したのであつた。いはゆるカイロ三國會談と稱せられるものである。

即ち、ルーオツェルトは、武器貸與局長官ホプキンス、大統領直屬參謀長リーヒ、參謀總長マーンシャル、海軍作戰部長キング、北阿反艦艇軍司令官アイゼンハウアー、在印米空軍司令官ストラットマイアー、重慶派遣米軍司令官スチルウェル、重慶派遣米航空隊司令官シェンノット等を隨へ、チャーチルは外相イーデン、首相幕僚長イズメイ、參謀總長ブルック、軍令部長カムカム、東南アジア軍司令官マウントパットン等と共に、また蒋介石は宋美齡のほか、もと外務部長で現在軍事委員會議書長である王寵惠、海軍部長陳紹寬等を河伴してカイロに到着、十一月二十二日から二十七日に亘つて會談したのであつた。

會談の結果として發表された共同宣言には、米英、重慶は日本の無條件降伏

を圖るため共同戦争を遂行し、陸海空三軍を以て日本軍に壓力を加へることに意見の一致をみたが、しかし日本軍に對する戦争は、困難かつ長期に亘ることが豫想され、また三國の戦争目的は、日本の武力を剝奪し、領土を掠奪して日本を三流國に陥れることにありと書かれてゐるのである。

このカイロ三國會談は、國民政府の參戰に伴ひ、租界の還付、治外法權の撤廢等が實現して支那の自主獨立が回復され、對日抗戰繼續の意義を喪失した重慶の焦慮と、大東亞會議によつて示された大東亞總力の結果が、必勝の態勢をいよゝ不動とした情勢に狼狽した米英が、蒋介石を慰撫して反艦艇陣營からの離脱を引留め、併せて對日反攻を誇示せんとする謀略として行はれたものにほかならぬのであり、ドイツの新聞紙が批評したところの「敵米英は未曾有の神經戦争を呼號すると共に、かくの如き企圖により、歐洲にお

いても、東亞においても、軍事的成功の希望を喪ひつゝある世界並びに味方諸國の目を眩惑せんとするために、この種の威嚇戰術に出でざるを得なかつたことを知るのみである」との言葉は、まさにその真相を衝いたものである。

しかし、右のカイロ三國會談が、抽象的な對日反攻作戦を誇示し、また笑止千萬の日本威嚇を以て終始したのとばかり、何ら建設的な綱領を掲げ得なかつたことを、我が大東亞共同宣言が新世界建設の指針である世界外交史上、不朽の五ヶ條の具體的建設方策を掲げてゐるのと比較して、敵米英の謀略が如何に思想的に貧弱なものであるかが窺はれると共に、敵米英が日本を東亞より抹殺し、以て東亞征服の非望を遂げんとする悪辣な本心を暴露したものであり、これによつて寸毫といへども大東亞建設の後方が攪亂されることなきは勿論、敵米英に對する戦意はいよゝ昂まるのみである。

### カイロからテヘランへ

かやうにしてカイロで蒋介石との會談を終つたルーオツェルトとチャーチルは、イランの首都テヘランに乗り込み、十一月二十八日から十二月一日に亘つてスクーリン首相との會談を行ったのであるが、米英側よりはカイロ三國會談における隨員全部が出席し、ソ聯側からはモロトフ外務人民委員、ウヨロシロフ元帥以下が参加したのであつた。

この三國會談で採り上げらるべき問題については、さきにモスクワ會談で決定をみなかつたところの第二戰線を始めとして、ヨーロッパ政治問題が中心となつたものであるとは、各方面の一致した推測であつたが、會談の結果として發表されたところのものは、三國會談とイラン獨立に關する宣言であり、殊に三國會談の中には、「吾人は東、西、南三方面より遂行せらるべき作

戰の範圍と時期に關して完全なる合意に到達した」と書かれてをり、これは第二戰線を示唆するものとして注目されたのであつたし、またイラン獨立に關する宣言は、三國外交の動向を現はすものとして、これまた各方面の關心を集めたものであつた。

しかしながら、このテヘラン三巨頭會談も、勿論モスクワ會談に引續く米英の謀略に基づくものであり、從つて第二戰線、ヨーロッパ政治問題等に關して如何なる導引が行はれ、如何なる諒解が成立したかは明らかでないが、會談の結果がドイツを始め、樞軸國に對する米英の外交攻勢に大きな役割をもつてゐることは疑ひないところである。

このテヘラン會談に對して十二月七日、ゲッベルス宣傳相が「恐怖や威嚇乃至は空手形等を以てドイツ國民の士氣と抗戰意思とを破壊することは不可能である。敵が神經戰をやつてゐるこ

とは、彼等が軍事的に脆弱であることを物語つてゐるに過ぎない」との見解を發表、米英側の謀略を指摘したのであるが、果せるかな、このテヘラン會談に引續いて、カイロで米英ソ土の四國會談が行はれ、さらにバルカンに對する米英ソの猛烈な外交攻勢が展開されたことによつて、テヘラン會談の性格が窺はれるのである。

なほ、米國輿論の熱望してゐるソ聯の對日軍事基地供與の問題は、モスクワ會談でも、またテヘラン會談でも採り上げられなかつた模様で、日ソ關係は依然として中立條約によつて平穩を續けてゐるのである。

### トルコ・バルカンに隱手

バルカン乃至は近東における敵側外交工作の中心は、疑ひもなくトルコにある。遠くはカサブランカ會談の直後に英土アラブ會談が行はれ、爾來、米英側の工作はあらゆる機會に亘る

本形によつて間断なく續けられて来たのであつたが、モスクワ會談の後にも十一月五、六の兩日に亘つて英外相イーデンは、カイロでメネメンジゴグル土外相と會談し、モスクワ會談の内容を報告すると共に、バドリオ政権降伏後における地中海とバルカンの情勢に關して、トルコ側の意向を打診し、トルコの反極軸陣營引込み工作を行つたと傳へられてゐる。

そしてテヘラン會談の終了と共に、ルーズヴェルトとチャーチルは、再びカイロに歸來し、ヴィノグラドフ駐土ソ聯大使を加へ、アンカラから飛來したイノニエー士大統領を迎へて、十二月四日から六日に至る三日間、四國會談を行つたのであつたが、會談の結果については、メネメンジゴグル土外相が十二月九日、記者團に對して發表したところによると、米英ソ土四國の綜合的政策とトルコの一般政策が検討され、三國に對するトルコの親善政策

は一般に強化された趣きであるが、さらに十二日、トルコ政府は、米英ソ間の利害および見解の一致、ならびに右三國に對するトルコの友好關係が再認識された旨を發表したのであつた。

なほ、米英を始め中立國各方面では、ダーダネルス海峡問題、バルカンにおけるソ聯の勢力、トルコ參戰の場合におけるドイツの報復に對する措置、イランを通過する中東におけるソ聯の勢力等の諸問題について検討され、三國側が軍事基地提供を盛んに進めたのに對して、トルコ政府は、同國の非交戰國である現狀と相容れない一切の條件を拒否する旨を表明して、中立堅持の態度を明らかにしたものと傳へられてをり、またメネメンジゴグル外相も、トルコの外交政策は不變であり、參戰は事實と相違すると言明し、トルコの對極軸關係には何等の變化なき旨を強調してゐるのであるが、

米英のトルコ抱込み工作は、今後とも執拗にあらゆる手段を盡して行はれるものとみられる。

敵米英の對土工作と關聯して敵側の露筋は、ブルガリアを始めルーマニア、ハンガリア等のバルカン諸國に向けられ、極めて深刻激烈な工作が展開されつゝある。

即ち十二月十一日、米國務長官ハルは、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリアの三國に對して、極軸離脱を勸告した恫喝的通告を送つたのであるが、特にブルガリアに對しては、首都ソフィアに對する直撃を以て威嚇し、脱落直前のイタリヤに對してとつた神經戰争を以て挑むのみならず、或ひはブルガリアの政變説乃至革命説を宣傳し、またはブルガリアがソ聯を仲介としてマケドニア、トラキア領有を條件に、イギリスとの和平を提議した等の虚説を流布する等、極めて悪辣な謀略を行ひつゝあるのである。

### 高まるソ聯の外交的地位

なほ、ソ聯の歐洲進出は東部戰線の動きと關聯して、春以來、世界の注目の的となりつゝあつたが、モスクワ會談以後は特に顯著となり、今やソ聯は米英と並び、或ひはイギリスの地位を抜いて、アメリカと共に反極軸國の要衝とも稱すべき地位を占めるに至つたことは、今後の戦局及び反極軸戰時外交の動向を見る上において見逃すことの出来ぬことである。

ソ聯は既に地中海委員會の一員として、南ヨーロッパ、北アフリカ問題に對する發言權を確保し、ロンドンに設けられることになつたヨーロッパ諸國委員會には、フランス解放委員會が加はつてゐないにも拘はらず、ソ聯は米英と肩を並べて、ヨーロッパに對する主動的地位を得たのであつた。

これを昭和十三年秋、いはゆるミューンヘン會議で、ソ聯の同盟國であり、

多年緊密な關係にあつたチェコスロバキアの運命が決められた際に、ソ聯が全く除け物にされたのと對比すると、過去五ヶ年におけるソ聯の國際的地位の變化に驚かざるを得ないのである。

北阿のフラン解放委員會において、共産黨の進出は日覺しいと傳へられてをり、さらにユーゴ國内においては大セルビア主義を標榜し、なほ、カイロにある亡命ユーゴ政権と直接に連絡のあるミハイロヴィッチ派は、共産黨のバルチザンであるチトー一派に押され、イギリス政府すら、これに代表を派遣するの餘儀なきに至つてゐるのである。

特に十二月十二日、赤都モスクワにおいて調印されたソ聯・チェッコ相互援助條約は、幾多の點で

ソ聯の東歐・東南歐に對する將來の意圖を示唆するものとして注目すべきもので、特にポーランドの加入を豫想してゐる條項は、各方面から多大の反響を呼びつゝあるが、本條約がテヘラン會談後に調印され、従つて米英の承認を得たものと豫想されることは、ポーランドの東方國境についても、敵米英はソ聯の主張に屈したとの豫想をいよいよ強からしめるのである。

(外務省調査局)

| 國家 慶祝 一月 |                           |
|----------|---------------------------|
| 十三日      | 言葉花さくものは必ず實なし             |
| 十四日      | 不借身命なり、但借身命なり             |
| 十五日      | 訓練を實戦と思へ、實戦を訓練と思へ         |
| 十六日      | 家職産業は、たすけてたすけらるゝわざ        |
| 十七日      | することかたきにあらざるよくすることのかたきなり  |
| 十八日      | 秋をよまでは、古への世のくはしき意         |
| 十九日      | 風雅のおもむきはしりがたし             |
| 二十日      | 學者になる學問は容易なるも無學になる學問は困難なり |

新井白鐵 元  
道 元  
東郷平八郎  
大田隆正  
十 關 抄  
木居宣長  
藤 澤 壽

# 大東亞戦争日誌



自昭和十八年十一月三日  
至同 十一月二十九日

## 十一月三日(水)

山西の共産軍を殲滅  
北支那は十月二日以来、山西省に蟻  
躍する共産軍の滅滅戦を展開  
遺棄死約五千八百五十、俘虜一千八  
十七、擧げられた

ニューギニアの敵四百を殲滅  
フィニンハー(ヘン)附近の我が部隊は、十  
月三十日以来、敵に互る敵の出撃を撃  
つ、四百名以上の損害を與へた

## 十一月五日(金)

ブーゲンビル島沖航空戦  
海軍航空部隊は夕刻、ブーゲンビル  
島南方において敵機動部隊を捕捉攻  
撃、次ぎの戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

雙、巡洋艦(若くは大型  
駆逐艦)二隻  
我が方の損害 未歸還三機

## 十一月八日(月)

古賀司令長官に勅語を賜ふ  
ソロモン海域における聯合艦隊航空  
部隊の勇戦を御嘉尚、古賀聯合艦隊司  
令長官に勅語を賜ふ

第二次ブーゲンビル島沖航空戦  
海軍航空部隊は朝以来、ブーゲンビル島  
南方海面において敵機動部隊を捕捉攻  
撃、次ぎの戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

## 十一月九日(火)

ニューギニアで百八十機を撃墜  
陸軍航空部隊は六日以来、六回互  
つてマザブ(マザブ)方面、ブーゲンビル島  
等の敵飛行基地を攻撃すると共に、地  
上部隊に協力して敵機を撃墜、次ぎの  
戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

雙、五十九機(うち不詳十七機)  
地上撃破炎上 百二十機以上  
我が方の損害 自爆未歸還十五機

## 十一月十一日(木)

古賀司令長官に勅語を賜ふ  
ソロモン海域における聯合艦隊航空  
部隊の勇戦を御嘉尚、古賀聯合艦隊司  
令長官に勅語を賜ふ

第三次ブーゲンビル島沖航空戦  
海軍航空部隊は、晝夜間に互り悪天  
候を冒し、敵機動部隊をブーゲンビル  
島南方に捕捉攻撃、次ぎの戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

## 十一月二十日(土)

我が方の損害 戦死二百一十一名  
海軍將兵に勅語行賞  
第十九回(海軍第五十二回)大東亞戦争死者  
勲功行賞の御沙汰あらせらる

南太平洋海戦(昭和十七年十一月二十六日)に際し  
南太平洋海軍航空隊司令官より感状が授與  
され、上間に達した旨、海軍省公表

地上撃破炎上 三十三機以上  
燃料集積所炎上 三ヶ所

## 十一月十三日(土)

大津部隊の偵察 上間に達す  
十八日(大津部隊)に偵察を命じて  
大津部隊に對し感状が授與され、上間に達  
した旨、海軍省公表

第四次ブーゲンビル島沖航空戦  
海軍航空部隊は未明、敵機動部隊を  
ブーゲンビル島南方に捕捉攻撃、次ぎ  
の戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

## 十一月十六日(火)

ソロモン夜戦部隊の  
偵察 上間に達す

第二次ソロモン海戦(昭和十七年八月八日)に  
勇戦を命じた〇〇部隊夜戦部隊に對  
し古賀聯合艦隊司令官より感状が授與さ  
れ、上間に達した旨、海軍省公表

和野高射隊の偵察 上間に達す  
キスカ島防備に俾命を命じた和野高射隊  
隊に對し感状が授與され、上間に達した  
旨、海軍省公表

## 十一月十七日(水)

南方戦線で勇戦中の富永信政中將戦病死  
し、陸軍大將に進級された旨、陸軍省発表

第五次ブーゲンビル島沖航空戦  
海軍航空部隊は未明、敵機動部隊を  
ブーゲンビル島南方に捕捉攻撃、次ぎ  
の戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

我が方の損害 未歸還五機  
トロキナ沖で五機を撃墜  
海軍航空部隊は早朝、トロキナ沖  
の抵抗を排除し、敵機動部隊を  
強襲、歸途約百機と交戦、次ぎの戦果  
を擧げた

輸送船一隻、中機動部隊一隻  
輸送船一隻、中機動部隊一隻  
輸送船一隻、中機動部隊一隻

中支軍は十一月二日、洞庭湖西方に  
進攻作戦を展開し、諸要衝を奪取、  
作戦開始以来、次ぎの戦果を擧げた  
遺棄死約五千七百、俘虜約二千、火藥  
二十二門、銃器一千餘

## 十一月二十一日(日)

陸軍將兵に勅語行賞  
第七十二回(海軍第五十三回)支那事變死者  
勲功行賞の御沙汰あらせらる

航空母艦、戦艦を含む敵有力部隊  
は十九日朝、艦隊を以てマ  
キン島とタラワ島を反復砲撃し、一  
部兵力は二十一日朝、兩島に上陸、激  
戦を展開

## 十一月二十三日(火)

第一次ギルバート諸島沖航空戦  
海軍航空部隊地上部隊は、ギルバー  
ト諸島に反攻の敵を激撃、とくにタラ  
ワ島においては、激戦を展開中であ  
るが、十九日以来、次ぎの戦果を擧げた

大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻  
大機動部隊一隻、中機動部隊一隻

我が方の損害 戦死二百一十一名  
海軍將兵に勅語行賞  
第十九回(海軍第五十二回)大東亞戦争死者  
勲功行賞の御沙汰あらせらる





| 12月抽籤 附債債券 當籤番號 (共ノ四) |       | 交拂開始期 昭和十一年一月一日            |       | 支拂場所 日本郵政銀行本支店、出張所、代理店及集配郵便局 |       |
|-----------------------|-------|----------------------------|-------|------------------------------|-------|
| (普通表式ノ子・四開、括弧内金額・附利息) |       | 全當籤番號掲載紙 官報、債券時報號外、各地ノ主ノ新聞 |       | 昭和十一年十二月 大藏省・日本勸業銀行          |       |
| 1                     | 14017 | 34185                      | 50810 | 70047                        | 87194 |
| 2                     | 14046 | 14510                      | 34594 | 51171                        | 70408 |
| 3                     | 14148 | 14442                      | 34270 | 51270                        | 70308 |
| 4                     | 14201 | 14561                      | 34745 | 51886                        | 70557 |
| 5                     | 14247 | 14711                      | 35520 | 51713                        | 70646 |
| 6                     | 14384 | 14880                      | 35442 | 51984                        | 70850 |
| 7                     | 14401 | 14908                      | 35740 | 52344                        | 70975 |
| 8                     | 14489 | 15001                      | 35653 | 52041                        | 71041 |
| 9                     | 14511 | 15114                      | 35655 | 52790                        | 71031 |
| 10                    | 14542 | 15262                      | 35746 | 53746                        | 71197 |
| 11                    | 14560 | 15358                      | 35674 | 54119                        | 71268 |
| 12                    | 14581 | 15492                      | 35715 | 54927                        | 71419 |
| 13                    | 14592 | 15522                      | 35605 | 55005                        | 71615 |
| 14                    | 14623 | 15620                      | 35091 | 55911                        | 71914 |
| 15                    | 14630 | 15627                      | 35119 | 56250                        | 72035 |
| 16                    | 14631 | 15628                      | 35117 | 56252                        | 72037 |
| 17                    | 14632 | 15629                      | 35116 | 56253                        | 72038 |
| 18                    | 14633 | 15630                      | 35115 | 56254                        | 72039 |
| 19                    | 14634 | 15631                      | 35114 | 56255                        | 72040 |
| 20                    | 14635 | 15632                      | 35113 | 56256                        | 72041 |
| 21                    | 14636 | 15633                      | 35112 | 56257                        | 72042 |
| 22                    | 14637 | 15634                      | 35111 | 56258                        | 72043 |
| 23                    | 14638 | 15635                      | 35110 | 56259                        | 72044 |
| 24                    | 14639 | 15636                      | 35109 | 56260                        | 72045 |
| 25                    | 14640 | 15637                      | 35108 | 56261                        | 72046 |
| 26                    | 14641 | 15638                      | 35107 | 56262                        | 72047 |
| 27                    | 14642 | 15639                      | 35106 | 56263                        | 72048 |
| 28                    | 14643 | 15640                      | 35105 | 56264                        | 72049 |
| 29                    | 14644 | 15641                      | 35104 | 56265                        | 72050 |
| 30                    | 14645 | 15642                      | 35103 | 56266                        | 72051 |
| 31                    | 14646 | 15643                      | 35102 | 56267                        | 72052 |
| 32                    | 14647 | 15644                      | 35101 | 56268                        | 72053 |
| 33                    | 14648 | 15645                      | 35100 | 56269                        | 72054 |
| 34                    | 14649 | 15646                      | 35099 | 56270                        | 72055 |
| 35                    | 14650 | 15647                      | 35098 | 56271                        | 72056 |
| 36                    | 14651 | 15648                      | 35097 | 56272                        | 72057 |
| 37                    | 14652 | 15649                      | 35096 | 56273                        | 72058 |
| 38                    | 14653 | 15650                      | 35095 | 56274                        | 72059 |
| 39                    | 14654 | 15651                      | 35094 | 56275                        | 72060 |
| 40                    | 14655 | 15652                      | 35093 | 56276                        | 72061 |
| 41                    | 14656 | 15653                      | 35092 | 56277                        | 72062 |
| 42                    | 14657 | 15654                      | 35091 | 56278                        | 72063 |
| 43                    | 14658 | 15655                      | 35090 | 56279                        | 72064 |
| 44                    | 14659 | 15656                      | 35089 | 56280                        | 72065 |
| 45                    | 14660 | 15657                      | 35088 | 56281                        | 72066 |
| 46                    | 14661 | 15658                      | 35087 | 56282                        | 72067 |
| 47                    | 14662 | 15659                      | 35086 | 56283                        | 72068 |
| 48                    | 14663 | 15660                      | 35085 | 56284                        | 72069 |
| 49                    | 14664 | 15661                      | 35084 | 56285                        | 72070 |
| 50                    | 14665 | 15662                      | 35083 | 56286                        | 72071 |
| 51                    | 14666 | 15663                      | 35082 | 56287                        | 72072 |
| 52                    | 14667 | 15664                      | 35081 | 56288                        | 72073 |
| 53                    | 14668 | 15665                      | 35080 | 56289                        | 72074 |
| 54                    | 14669 | 15666                      | 35079 | 56290                        | 72075 |
| 55                    | 14670 | 15667                      | 35078 | 56291                        | 72076 |
| 56                    | 14671 | 15668                      | 35077 | 56292                        | 72077 |
| 57                    | 14672 | 15669                      | 35076 | 56293                        | 72078 |
| 58                    | 14673 | 15670                      | 35075 | 56294                        | 72079 |
| 59                    | 14674 | 15671                      | 35074 | 56295                        | 72080 |
| 60                    | 14675 | 15672                      | 35073 | 56296                        | 72081 |
| 61                    | 14676 | 15673                      | 35072 | 56297                        | 72082 |
| 62                    | 14677 | 15674                      | 35071 | 56298                        | 72083 |
| 63                    | 14678 | 15675                      | 35070 | 56299                        | 72084 |
| 64                    | 14679 | 15676                      | 35069 | 56300                        | 72085 |
| 65                    | 14680 | 15677                      | 35068 | 56301                        | 72086 |
| 66                    | 14681 | 15678                      | 35067 | 56302                        | 72087 |
| 67                    | 14682 | 15679                      | 35066 | 56303                        | 72088 |
| 68                    | 14683 | 15680                      | 35065 | 56304                        | 72089 |
| 69                    | 14684 | 15681                      | 35064 | 56305                        | 72090 |
| 70                    | 14685 | 15682                      | 35063 | 56306                        | 72091 |
| 71                    | 14686 | 15683                      | 35062 | 56307                        | 72092 |
| 72                    | 14687 | 15684                      | 35061 | 56308                        | 72093 |
| 73                    | 14688 | 15685                      | 35060 | 56309                        | 72094 |
| 74                    | 14689 | 15686                      | 35059 | 56310                        | 72095 |
| 75                    | 14690 | 15687                      | 35058 | 56311                        | 72096 |
| 76                    | 14691 | 15688                      | 35057 | 56312                        | 72097 |
| 77                    | 14692 | 15689                      | 35056 | 56313                        | 72098 |
| 78                    | 14693 | 15690                      | 35055 | 56314                        | 72099 |
| 79                    | 14694 | 15691                      | 35054 | 56315                        | 72100 |
| 80                    | 14695 | 15692                      | 35053 | 56316                        | 72101 |
| 81                    | 14696 | 15693                      | 35052 | 56317                        | 72102 |
| 82                    | 14697 | 15694                      | 35051 | 56318                        | 72103 |
| 83                    | 14698 | 15695                      | 35050 | 56319                        | 72104 |
| 84                    | 14699 | 15696                      | 35049 | 56320                        | 72105 |
| 85                    | 14700 | 15697                      | 35048 | 56321                        | 72106 |
| 86                    | 14701 | 15698                      | 35047 | 56322                        | 72107 |
| 87                    | 14702 | 15699                      | 35046 | 56323                        | 72108 |
| 88                    | 14703 | 15700                      | 35045 | 56324                        | 72109 |
| 89                    | 14704 | 15701                      | 35044 | 56325                        | 72110 |
| 90                    | 14705 | 15702                      | 35043 | 56326                        | 72111 |
| 91                    | 14706 | 15703                      | 35042 | 56327                        | 72112 |
| 92                    | 14707 | 15704                      | 35041 | 56328                        | 72113 |
| 93                    | 14708 | 15705                      | 35040 | 56329                        | 72114 |
| 94                    | 14709 | 15706                      | 35039 | 56330                        | 72115 |
| 95                    | 14710 | 15707                      | 35038 | 56331                        | 72116 |
| 96                    | 14711 | 15708                      | 35037 | 56332                        | 72117 |
| 97                    | 14712 | 15709                      | 35036 | 56333                        | 72118 |
| 98                    | 14713 | 15710                      | 35035 | 56334                        | 72119 |
| 99                    | 14714 | 15711                      | 35034 | 56335                        | 72120 |
| 100                   | 14715 | 15712                      | 35033 | 56336                        | 72121 |